



①課題

1. 教員間で学校の理念、各学科の目標等の認識に少しズレがあると感じるときがある。
2. 学生が教育目標について知り、遂行しようとする意識が不足している。
3. 職業教育の学校であることの自覚が不足している。
4. 対人援助職を育成するところが、卒業する為の教育になっている。
5. 保護者会を開催して、保護者が学校教育に求めるものは何かを把握する。
6. 学生からの授業評価、学校評価が必要。

②今後の改善方策

1. 学校の理念や各学科の教育目標について、認識違いを感じたときはすぐに共通認識が図れるよう直近の運営会議や職員会議にて提議して解決する。
2. 教育目標について意識できる環境提供を検討する。
3. 職業教育の場であることを意識させて学校生活の行動変容ができるように指導する。
4. 人材育成として指導する観点を協議して取り組む。
5. 保護者会を開催し、各学科の育成人材像等を説明する。また、保護者の学校教育への要望を鑑みて、さらに充実した保護者懇談会を実施できるよう試みる。
6. 授業評価アンケートを実施して改善と質の向上を図る。

(2) 学校運営

評 価 項 目	※ 1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	3
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

※ 1 適切… 4    ほぼ適切… 3    やや不適切… 2    不適切… 1

①課題

1. 業務の簡素化（ペーパーレス）
2. 教職員の仕事量に差があり、改善が必要
3. 給与規程は整備されているが、昇給の詳細や賞与時の評価等が分からない。
4. 育児休暇で抜ける職員の仕事を、他の職員が行うことの負担が大きい。
5. コンプライアンス意識を身につける。
6. 新しいポータルサイトの活用を全員が積極的に覚える。

## ②今後の改善方策

1. よく似た内容の書類や関連する書類を一元化する。
2. 業務分担の見直しと役割を明確化にして組織的に遂行する。
3. マニュアルを作成して明示する。
4. 育児休暇の間、臨時職員の採用を検討する。
5. 教職員研修としてコンプライアンス研修を企画する。
6. 担当者による説明会を実施して、積極的に活用し日常的に使用されるようにする。

## (3) 教育活動

評価項目	※1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか	3
・授業評価の実施・評価体制はあるか	3
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
・成績評価・履修認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

## ①課題

1. 学生の基礎学力の差や理解力の低下、精神的な不安定等、集団の中に様々な状態の学生がいる。この中での授業進度や学習指導が難しい。
2. 一部の学科で授業評価を実施しているが公表できていない。授業評価を実施できていない学科においては、実施体制が必要である。
3. 外部開催の教員研修に参加しているが、個々の日程調整が課題である。

②今後の改善方策

1. その時々判断が必要な場合もあるが、可能であれば複数の教員で授業に入る。
2. 授業評価に関しては、自己点検自己評価の観点から、学校としてどのように公表すべきかを検討する必要がある。
3. 教員の研修への積極的参加を指示する。  
研修費の増額、研修に参加するための時間確保を追求する。

(4) 学修成果

評価項目	※1
・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	3
・退学率の低減が図られているか	3
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

1. 卒業生の動向が把握できていない。実習施設先への就職者は情報が入ってくるが、それ以外の卒業生は分からない。
2. 卒業時アンケートをもとに就活の時期や就職試験情報等を就職指導に活かしているが、その成果の有無は分からない。
3. 一部の学科で退学者が急増した。学力不足により授業進度についていけず、心身の不調を訴えて退学に至るケースが多い。その他、入学時から目標もなく、なんとなく入学した学生も意欲が低い授業についていけない。このような学生への対応が難しい。
4. 入学生が、「低学力」「発達に問題がある」「人との関係作りができない」「コミュニケーションが取りにくい」等の学生が増えてきているように思う。その対応に時間がかかり、他の業務に手が回らないことがある。
5. 学生の就職に関するニーズや意識が変化していることへの対応や状況把握が難しい。

②今後の改善方策

1. 卒業生の動向を把握するための方法やしくみを検討する。
2. 就職指導の効果について、キャリア支援部から学生にアンケートをとる取り組みをする。
3. 退学について、各学科では情報共有がなされているが、学校全体としてしっかりと振り返り、学生や保護者との関わり方を検討する機会を作る。
4. カウンセラーやソーシャルワーカー等を非常勤として雇用し、対応する。
5. 学生のニーズの把握と社会状況に応じた就職支援に対応する必要がある。キャリア支援部主催でさまざまな種別の施設等と懇談会を開催して、施設側の雇用形態や労働条件等、現在の状況を確認する。

(5) 学生支援

評価項目	※1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	3
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
・学生の生活環境への支援は行われているか	3
・保護者と適切に連携しているか	3
・卒業生への支援体制はあるか	3
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

1. 相談の内容が多様化・複雑化しているため、対応に時間を要するケースが増加。
2. 学生の相談支援、保護者との連携について、適切かつ臨機応変に対応できない教員がいる場合、対応できる教員に業務が偏ってしまう。
3. 学生が相談しやすい環境が整っていないのではないか。
4. 心身の問題を抱える学生が増加しており、対応する時間がない。保護者対応も同様。

②今後の改善方策

1. 早期に対応できるよう面談など個別に機会を設ける。また内容により校内のカウンセラー(非常勤)へ繋げる。
2. ハード・ソフト両面で環境を整える必要がある。ハード面ではカウンセリング室等、ソフト面では専任のカウンセラーやソーシャルワーカーを雇用してほしい。
3. 学生個々の問題にいち早く気づき、教職員間で共有しながら、相談を受けやすい体制づくりをする。
4. 専門家を要請して相談口を提供する。保護者への対応は、保護者会を開催し、希望する保護者には個別で懇談会を設ける。

(6) 教育環境

評価項目	※1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
・防災に対する体制は整備されているか	3

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

### ①課題

1. 災害対策に特化した組織がない。
2. 施設・設備の老朽化がある。
3. 情報処理室のパソコンや、Wi-Fi 環境等インフラの不具合が多い。

### ②今後の改善方策

1. 災害対策のマニュアルはあるが、行政との関連、同法人内との関連を含めて見直し、教職員へ周知する。そして、防災訓練にて実施する。
2. 老朽化部分の修繕について優先順位をつけて、順次整備していく。
3. 情報処理室のパソコンの定期的な点検を行う。  
教職員の IT 知識を向上させる。不具合と思っていた原因は、コンセントが入ってなかったり、再起動すれば復旧したり等、知識があればすぐに解決できる問題も多い。

### (7) 学生の受入れ募集

評価項目	※1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
・学納金は妥当なものとなっているか	3

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

### ①課題

1. カリキュラムの魅力について発信できているか？
2. 募集活動は学校全体として校務分掌での広報部を中心に取り組んでいるが、広報部以外の教職員がなかなか関与できていないように感じる。  
新たな取り組みの必要性を感じていても、企画・実施に手が延ばせないため「いつもとっしょ」なマンネリ化がみられる。
3. オープンキャンパス等で、学校に直接来ていただく以外、高校生と話ができる場が少ない。
4. 学費は15年前以来、上げていない。18歳人口の減少による入学者の減少に加えて、物価高が進む中、学費の値上げが課題である。

### ②今後の改善方策

1. パンフレットやチラシにカリキュラムの魅力を掲載して、オープンキャンパスや高校訪問にて持参する。そして、在校生の満足度にも目を向けて、意見を反映させたチラシを定期的に変えて活用していく。
2. 広報部を中心に教職員全体で意見交換する。企画のマンネリ化も合わせて改善検討する。
3. 高校生に本校の良さを伝えられる場を増やす。それがどのような機会をどこでつくれるのかを検討する。
4. 近隣他校とも比較して適正な学費を検証する。

(8) 財務

評価項目	※1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

1. 学生数が少ないため、収支改善が課題。 2. 収入が少ないため、支出を抑える計画となる。何を削減するかが課題。
--

②今後の改善方策

1. 現在の学科編成から新たな編成へと変革を検討する。 2. 経費削減費目を運営会議で検討する。
---

(9) 法令等の遵守

評価項目	※1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
・学校関係者評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
・学校関係者評価結果を公開しているか	4

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

1. ハラスメントが発生しない環境の整備。 2. 個人情報を無意識で机上に放置していないか。電話の音が大きくて周囲に聞こえていないか等。
---

②今後の改善方策

1. 教職員から学生へのハラスメントが発生しないように繰り返し研修を行う。 2. 気がついたら教職員間で、注意し合える関係性を構築する。
---

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	※1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
・学生ボランティア活動を奨励、支援しているか	4
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

## ①課題

1. ボランティアに参加する学生が少ない。
2. 本校舎や教職員・学生がこの地域で社会資源として認識してもらえる取り組みが必要。

## ②今後の改善方策

1. ボランティア参加を推奨し、募集情報を本校のポータルサイトにて発信する。また、参加した学生の感想など SNS で発信してボランティアの魅力を広げる。
2. 社協と連携している教職員が情報共有し、本校が地域で貢献できる取り組みを検討する。